

## 課題⑦

### オーディション対象…医師

医師を演じてください。

設定…認知症の新しい治療法について説明する医師と、息子の会話

場所…病院の診察室

医師「今回の大ケガで、認知症が一気に進んだ状態です。この先、お二人だけで、ご自宅で生活するのは難しいと思います。」

息子「施設、ですか…?」

医師「ご家庭の事情はそれぞれですから、最後はご家族で決めていただくことになります。」

(しばらくの沈黙)

医師「もしご家族の了承をいただければ、新しい治療法を試すこともできますが…。」

息子「新しい治療法ですか?」

医師「お母様の場合、レビー小体型認知症と言いまして、あるタンパク質が神経細胞に溜まって起きる認知症です。新しい治療法で、このタンパク質の蓄積を制御することができるようになってきました。」

息子「つまり、治るということですか?」

医師「いえ、現段階では、お母様が元通りになるというわけではありません。ただ、ゆくゆくは記憶が正常になる可能性も期待されています。少なくとも、QOLはぐっと改善し、ご家族の負担は軽減されます。」

息子「具体的にどんな…?」

医師「基本的には、投薬で神経細胞を活性化させます。血液脳関門と申しまして、通常ヒトの脳は不要な物質が脳内に入らないよう、バリアの機能が高度に発達しているんです。これは関所みたいなもので、抗がん剤などは脳に入りにくく治療が難しいんですよ。お母様を詳しく検査しましたところ、今回の治療薬に対して、この関所が通常の人より通りやすくなっていることがわかりまして。」

息子「…。」

医師「投薬治療と申しまして、通常の点滴です。いずれは飲み薬が出てくる計画もあるようです。」